

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 70代	慢性骨髄性白血病 (高血圧症, うつ病, 慢性胃炎)	400mg 16日間	肺動脈性肺高血圧症, 中毒疹, 逆流性食道炎, 体重増加	
			↓ (13日間 投与なし)	約1カ月前	慢性骨髄性白血病発症。
			↓ 200mg 約2カ月 間	投与開始日	本剤400mg/日投与開始。
			↓ 400mg 約4年2 カ月 間↓ (12日間 投与なし)	投与13日目	皮疹(中毒疹)が出現。
			↓ 200mg 継続	投与16日目 (投与中止日)	本剤一旦中止。
				中止14日後 (再投与開始 日)	ベタメタゾン内服にて中毒疹は回復。本剤200mg/日で再開。
				再投与約2カ月 目	本剤400mg/日へ増量。
				再投与約4カ月 目	逆流性食道炎が発現。治療薬としてランソプラゾール15mg/日投与開始。
				再投与約4年4 カ月目 (発現日)	肺高血圧症, 下腿浮腫, 体重増加が出現。入院(体重45.8kg)。心エコーにて肺動脈圧62mmHgと肺高血圧症を示し, これによる浮腫と考えられた。臨床所見において易疲労感があり心エコー検査にて三尖弁収縮期圧較差62mmHgを確認。胸部X線像にて肺動脈本幹部の拡大と末梢肺血管陰影の細小化が見られた。また心電図で右室肥大所見が確認された。臨床分類は薬剤/毒物に伴う肺動脈性肺高血圧症。
				発現数日後 (再投与中止 日)	本剤中止。安静経過観察とした。
				再投与中止11日 後	心エコーにて肺動脈圧35mmHgと改善。
	再投与中止13日 後 (再々投与開始 日)	本剤200mg/日で再開。			
	再々投与11日目	軽快退院。体重40~41kg。肺高血圧症, 逆流性食道炎は回復。浮腫なし。本剤200mg/日で継続。			
	再々投与30日目	浮腫なし。			
併用薬: バルサルタン, フロセミド, メトプロロール酒石酸塩, レバミピド					